



平成 29 年 10 月 23 日

各 位

上場会社名 東芝プラントシステム株式会社  
 代 表 者 取締役社長 林 正孝  
 (コード番号 1983 東証第1部)  
 問 合 せ 先 業務部長 田邊 賢吾  
 (TEL 045-500-7012)  
 親 会 社 名 株式会社 東芝  
 代 表 者 代表執行役社長 綱川 智  
 (コード番号 6502 東証・名証各第2部)

## 平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計) 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 15 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	100,000	8,000	8,000	5,500	56.46
今回修正予想 (B)	107,000	5,800	6,050	3,700	37.98
増減額 (B-A)	7,000	▲2,200	▲1,950	▲1,800	—
増減率 (%)	7.0%	▲27.5%	▲24.4%	▲32.7%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	96,046	8,359	8,800	5,941	60.99

#### 2. 修正の理由

第 2 四半期(累計)の売上高は、既受注案件の進捗等により、前回予想値を上回る見通しであります。一方、営業利益、経常利益は、主に当第 2 四半期にて完成した海外火力案件において、工期延長に伴う追加費用の発生等で採算が悪化した影響と、東芝グループ内の一部取引にかかる貸倒引当金対象債権の増加に伴う貸倒引当金計上額の増加により、予想値を下回る見通しであります。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記の理由に加え、上記貸倒引当金が評価性引当金に該当することにより、税負担が増加した影響で予想値を下回る見通しであります。

なお、通期の業績予想につきましては、東芝グループ内の一部取引にかかる貸倒引当金対象債権が、第 2 四半期末に対して年度末では減少することが見込まれ、これに伴う貸倒引当金計上額の減少と、グローバル調達の拡大、工法や業務プロセスの改善、固定費の圧縮等継続的なコスト削減施策による第 3 四半期以降の採算改善を見込み、前回発表の業績予想から変更はありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上